

## 「現場クールプロジェクト」2025年6月より始動のお知らせ ～「ひんやりBOX（仮称）」による、夏場の現場環境改善と熱中症対策～

積水ハウス株式会社（以下、積水ハウス）は、近年の気候変動による気温上昇と、それに伴う建設現場における熱中症リスクの高まりを受け、従業員のアイデアをもとに、これまであった夏場の現場環境改善施策と熱中症対策をアップデートし、作業従事者の安全と健康を守るための新たな取り組みとして「現場クールプロジェクト」を始動いたしました。

日本国内では、熱中症による労働災害が年々増加しており、厚生労働省の統計によれば、2024年には1,195名が職場で熱中症を発症し、30名以上が死亡するという深刻な状況が報告されています。<sup>1</sup>また、2025年6月1日より改正労働安全衛生規則が施行され、事業者には「熱中症の早期発見体制の整備」、「重篤化防止のための手順作成」、「関係者への周知」が義務付けられました。こうした背景を踏まえ、積水ハウスでは、より実効性の高い熱中症対策を推進してまいります。

### ■「現場クールプロジェクト」概要

「現場クールプロジェクト」では、施工現場に従事する作業員を対象に、冷却効果の高い設備や製品の導入を通じて、現場環境の改善を図ります。本年度は、屋外作業（基礎・建方・外構工事等）を対象とした施策として、日野興業株式会社との共同開発による「ひんやりBOX（仮称）（エアコン休憩BOX）」を導入し、2025年6月より選定エリアにてパイロット運用を実施しております。



「ひんやりBOX（仮称）」

「ひんやりBOX（仮称）」は、仮設トイレの躯体を活用した省スペース型の冷房休憩施設であり、壁面に設置された冷房機器「ウインドエアコン」により、冷風を直接首元などに当てることで高い清涼感を得られる構造です。輸送がしやすく、また狭小地でも設置が可能なのが特徴です。内部にはベンチとテーブルを設置可能で、1～2名の利用を想定しています。また、「ウインドエアコン」については、水捨てが不要なノンドレン方式であり、一部の屋内の施工現場においても使用を開始しています。これには高い冷却効果が確認されており、併せて導入を推進しております。

積水ハウスでは、その他内装工事を含めた全工程での熱中症対策の情報を収集し、その中でも高い効果が確認できた施策を取りまとめ、来期以降の全国展開に向けて、運用体制の整備を進めてまいります。

<sup>1</sup> 出典：厚生労働省「職場における熱中症対策の強化について」<https://www.mhlw.go.jp/content/11303000/001476824.pdf>